

様式2(学融合レクチャーシラバス)	記載欄 ※申請時は日本語のみの記載で構いません。
授業名	科学コミュニケーション
Lecture title	
単位数	1
Credit	
担当教員	基礎生物学・助教・倉田智子*(基礎生物学研究所広報室) 広報社会連携室・天文科学専攻・講師・眞山聡 天文科学専攻 准教授 山岡均(国立天文台広報室長) 沖縄科学技術大学院大学・准副学長・森田洋平 朝日新聞社・科学コーディネーター・高橋真理子 ワック株式会社・ディレクター・泉大知
Instructors	
授業概要	前期集中講義(演習を含む) 学術研究と社会の間の情報交換をいかに行うか、それが実際にはいかに行われているか、についての基本知識、及びそれを活用するための実践的知識を学ぶ。本レクチャーのねらいは、社会とのコミュニケーションを意識しつつ、それを活かすことのできる研究者を養成することである。
教育目標・目的	・学術研究と社会との関係性について理解する。 ・分野外の研究者や一般を対象とした研究紹介を円滑に行うことを目指して経験を積む。 ・科学報道を中心に、社会における科学や学術の情報流通についての理解を深め、それを自身の研究活動において生かす事ができるようになる。
Learning outcome and objectives	
成績評価	* 事前課題5% * 演習での活動45% * 最終レポート50%
Grading policy and criteria	
授業計画	平成 29 年 8 月 7 日(月) - 平成 29 年 8 月 9 日(水) 講義と演習 1. 講義1「科学コミュニケーション概論」 2. 講義2「学術成果がニュースになるまで」 3. 演習1「口答で研究をシンプルに紹介」 3. 講義3「基礎科学の広報」 4. 講義4「天文学における科学コミュニケーション」 5. 講義5「科学ドキュメンタリー番組の作り方 ～ガリレオXの現場より～」 6. 講義6「科学とメディアの幸福な関係を目指して」 7. 演習2「文章作成・研究を社会にむけて紹介・文章のまとめ方」 8. 演習3「文章作成・研究を社会にむけて紹介・相互評価」 9. 演習4「文章作成・研究を社会にむけて紹介・完成作業」
Schedule	
実施場所	国立天文台 野辺山宇宙電波観測所
Location	
使用言語	日本語
Language	
備考	・事前課題 自身の研究を一般に紹介する際に効果的と考えられる素材や写真等を考え、用意する。 ・キーワード: 科学コミュニケーション、メディアリレーション、広報、アウトリーチ、研究者と社会 ・他大学学生の受講可 ・本講義は3日間の合宿型集中講義として開講される(2泊3日)。宿泊は野辺山宇宙電波観測所内の宿舎を利用する。
Remarks	
対象年次	1, 2, 3, 4, 5
教科書・参考図書	特に無し
Text and suggested readings	